

第12回中標津町議会 議会報告会



日 時 令和3年11月28日（日）午後1時30分～
会 場 中標津会場：ウェディングプラザ 寿宴
計根別会場：交流センター 大集会室

中標津町議会

次 第

1. 開会の辞

2. 主催者挨拶 中標津会場：中標津町議会 議 長 後藤 一男

計根別会場：中標津町議会 副議長 鈴木 克弘

3. 議員の自己紹介（議会議員会場別一覧表） ----- P2

4. 各委員会活動報告

①総務文教常任委員会----- P3～P6

②厚生常任委員会----- P7～P10

③産業建設常任委員会----- P11～P14

④議会改革特別委員会----- P15～P17

5. そ の 他

①議 会 概 要----- P18～P20

②一般質問分析表----- P21～P22

③議員所属一覧表 ----- P23

6. 質疑・意見交換

7. 閉会の辞

会場別参加議員一覧表

中標津会場				計根別会場			
No				No			
1	あんどう みか 安藤 美佳	1期	 厚生	1	ひらやま ひろみ 平山 光生	1期	 総務文教 改革
2	あべ たかひろ 阿部 隆弘	1期	 総務文教 ○広報	2	やまぐち たけひこ 山口 雄彦	1期	 厚生 広報
3	まつの みやこ 松野 美哉子	1期	 産業建設	3	さくま ふみこ 佐久間ふみ子	1期	 産業建設 広報
4	むねかた かずき 宗形 一輝	2期	 産業建設 ◎広報 改革	4	たかはし よしだ 高橋 善貞	2期	 ◎厚生 議運 改革
5	えぐち ともこ 江口 智子	2期	 厚生 ◎議運 ◎改革	5	くろかわ しずお 黒川 静夫	2期	 厚生
6	ちば きよまさ 千葉 清正	2期	 ◎産業建設 議運	6	さの やなみ 佐野 弥奈美	4期	 ◎総務文教 議運 改革
7	ごとう かずお 後藤 一男	5期	 議長	7	すずき かつひろ 鈴木 克弘	4期	 副議長
8	よしだ かんいち 吉田 貫一	5期	 ○総務文教 監査	8	さとう たけし 佐藤 武志	5期	 総務文教 ○議運
9	まつむら やすひろ 松村 康弘	8期	 ○厚生 ○改革	9	くまくら しげき 熊倉 重樹	6期	 ○産業建設

◎委員長 ○副委員長

総務部

1. 人事院勧告について

令和2年度の人事院勧告は民間給与との比較で、月例給の格差は極めて小さく改定なし、ボーナスでは、格差が0.04月あることから支給割合4.50月を4.45月に改定するとの内容でした。当町では勧告どおりの内容で、11月25日の臨時会で決定しました。

2. 北方領土対策について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、令和2年度の四島交流、北方墓参及び自由訪問の全ての事業が中止となり、北海道（主催）と千島連盟（共催）が航空機による北海道本島側上空からの北方領土上空慰霊が新たな事業として実施されました。

10月21日と25日の2日間5フライトで元島民87名及び親族・国会議員・道議会北特委員会委員・内閣府・北海道・北隣協等で38名、総勢125名が参加したとの報告がありました。

令和3年度の四島交流等事業については現在まで中止となっており、可能な限り早期に事業開始を確定できるよう調整が継続されています。



3. 中標津町未利用財産利活用基本方針について

本町の財政状況は大変厳しく、「中標津町行財政健全化緊急対策方針」を策定し、財政健全化を進めているところです。

その一環として「未利用財産の有効活用」が必要な施策として位置づけ、利活用についての基本的な考え方を定めるとともに広く町民に明らかにすることで、町民共有の財産の適正な管理と公平・公正で透明性のある利活用（処分）の推進についての方針が示され、令和3年度以降の売払い予定地として4箇所の候補について説明がありました。

委員会としては、災害時の仮設住宅候補地としての利活用を、検討するように依頼しました。

4. 町有財産の管理について

根室生産連が所有する根室農業会館は建設後50年を経過し、建替えが検討される中で東7条緑地に隣接する町有地をと相談があり、要望書が提出され、相互の土地の鑑定評価のうえ適正価格にて交換し、根室生産連は町に差額を支払い、現会館は新会館建設後解体し更地にして町へ受け渡すとの説明を受けました。現在は建設に向け樹木の伐採、整地等が行われています。更地として受け渡されるのはまだ先になりますが、今から土地の利活用について検討するよう要請しました。

5. 町税について

令和2年度の町税収納率等決算状況について説明を受け、特に「新型コロナウイルス感染症等に係る中小事業所等の家屋及び償却資産に対する固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例の適用」により、固定資産税及び都市計画税併せて70件、5,098万円減収となっており、国の地方税減収補填交付税にて補填されるとの回答がありました。

6. 町財政について

ふるさと応援制度推進事業における令和2年度の寄付金の実績について、件数で8,812件、金額で1億3,826万円となっており、令和元年度と比較して1.53倍になると報告がありました。

委員会内においては、ふるさと納税を含めた自主財源の確保について、返礼品のあり方についても意見が交わされ、より効果的な提案ができるよう引き続き協議することになりました。

令和2年度の普通会計決算の概要等について説明を受け、特に地方交付税の特別交付税において、対前年比8億385万円の増となっており、その内1億2,300万円が国の不採算地区中核病院に係る財政措置であることの説明がありました。

7. 防災について

応急仮設住宅候補地の概要について説明を受け、ハザードマップ中の危険区域内の用地について、現地調査を要請し危険区域外の安全な場所への変更を検討するよう依頼しました。

また、避難所におけるコロナ対策、季節の対策等を考慮した運営、対策本部と住民組織や他団体との連携協力・情報の共有について早急な対応を要請し、要請内容に加え町内会の活用について積極的に取り組んでいくとの回答がありました。



教育委員会

8. 新型コロナウイルス感染症対策について

学校施設における新型コロナウイルス感染症対策について、令和2年11月には児童生徒や教職員等に感染者が発生した場合、学校内で体調不良者が発生した場合、児童生徒に感染症が発生した場合のフロー図や、行事の実施状況、新しい生活様式についてなど対応策を整備しているとの報告がありました。

常に子供たちの気持ちに寄り添った文書の作成、対応をしていただくよう改めて依頼い

たしました。

9. 地域学校協働本部の取組状況について

コミュニティースクールは、学校区内の地域の方の協力のもと学校運営を支援しており、地域学校協働本部については、全町の地域の方の協力を得ながら、社会教育の側から先生方を支援するという組織であるとの説明を受けました。

在籍する地域コーディネーターが各校に配置され、相談を受け情報共有を行うことで連携の強化に繋がり、学校運営をより円滑にしていけることが可能となるよう取り組んでいるとの報告を受けたところです。

10. 文化財保存活用地域計画の進捗状況について

郷土資料等保存状況についての質問で、大小合わせて4万8,000点ほどが存在し、すべての展示は難しいとのことで、保管状況の確認のため後日視察を行いました。

収蔵庫の2か所のうちの1か所で平成30年の地震により大規模な雨漏りが発生し、そのため、伝成館と旧西竹小学校の体育館を緊急避難場所として使用しており、現地視察をした旧西竹小学校の体育館



では、中標津町郷土館の定義と事業、収蔵資料展示及び収蔵施設について説明を受けました。

今後は伝成館、空港、開陽台の他、文化庁の補助による収蔵施設を検討したいとのことでした。

子供たちにとっては写真でしか見たことのないような展示物も多いので、少しずつでも公開できないものか検討を依頼し、収蔵資料についてはテーマを設定した特別展示、学校などの外部での使用、インターネットや写真による資料紹介等により活用していきたいと報告を受けました。

11. 学習用タブレット端末について

児童生徒1人に1台（小1～中3）端末の整備を令和5年までに目指すとのGIGAスクール構想が令和元年12月に閣議決定されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、臨時休校が長期化する状況を鑑みて令和2年度に前倒しとなり、令和3年3月末に整備されています。

運用開始後は、「タブレット端末使用マニュアル」の作成や教員に対する「ICT活用研修会」が実施され、授業の中に取り入れられ始めています。

また、中標津農業高校においても令和4年度から実施される「情報活用能力育成が盛り込まれた新学習指導要領」に向けて、ネットワーク整備及び教員用端末整備の予算が可決

されました。生徒への端末の貸与について問題提起しております。

12. 中標津農業高校生の通学状況について

中標津農業高校における通学にバスを利用している生徒の人数は96名、乗車定員57名の阿寒バス2便（6：57発、7：30発）に分乗にて対応しているとのことです。

2便どちらにも乗車できなかった生徒がいたことに触れ、分乗による登校ができなくなると判断される場合の対応として、可能な限り自家用車による送迎を依頼しているところですが、学校で管理する8人乗りのワゴンタイプの公用車の活用により、路線バスに乗車できない生徒を限定し、送迎により対応したいとの説明を受けました。

委員会内においても引き続き協議を重ねていくこととしています。

13. スクールバスの運行状況について

小中学校のスクールバスの目的は、統廃合により閉校した学校の校区に居住する児童生徒の通学の足を確保するために運行しています。

現在の路線はバス6路線、ハイヤー7路線の計13路線で運行しており、委託運行業者の数、車両台数、運転手の拘束時間の上限などから、現行の運転路線数が限界の状況であること、また、南中地区は通学路環境が整っていないことから、現在センター方式にて対応しているとの報告を受けました。

経路や時間など柔軟な対応をしていただくよう依頼しました。

14. 中標津町学校施設長寿命化計画について

中標津町学校施設長寿命化計画は、町立の義務教育諸学校・高等学校・幼稚園・給食センターについて、子ども達が安全安心に学校施設を利用できるよう、施設全体の実態を把握し、長期的な維持管理の視点により策定されたもので、40年間の構想期間と令和3年度からの10年間の計画期間の内容について説明を受け、今年度から工事を始める広陵中学校の工事期間と工事内容について、確認したところです。

町民生活部

1. 国民健康保険料率改定について

制度改革以前の保険税には、市町村各々の国保加入者が受診した医療費を賄うことができる保険税率を決定し財源を確保していましたが、平成 30 年度の制度改革により、北海道が財政運営の責任主体として中心的な役割を担う事となりました。

これにより、北海道が道内国保加入者全体の医療費を賄うため、各市町村の被保険者数、所得状況、一人当たりの医療費の状況から算出した納付金を医療費の財源として市町村より集めるかたちとなり、市町村の保険税は、納付金を支払うための財源として、保険税率を決定・賦課・徴収を行います。

また、北海道では令和 12 年度を目標として統一保険料率（同一所得・同一世帯構成であれば道内どこの市町村でも同じ負担）を目指すこととなりました。

2. 俣落へき地保育所の閉所について

これまで平成 15 年度中標津町保育計画により、集団保育の難しい 10 人以下となったへき地保育所については、閉所や統廃合が行われてきました。

令和 2 年 11 月、俣落へき地保育所では平成 27 年 4 月からの地域・保護者との協議結果、令和 3 年 4 月の園児が 2 名となり、今後の新規入所者が見込まれないことから、令和 2 年度末で閉所するとの報告を受けました。

これにより、当町のへき地保育所は「協和へき地保育所」の一か所になりますが、こちらも令和 3 年度末で閉所される予定です。

3. 北海道社会福祉事業団なかしべつ生活サポートセンター『よりそい』について

生活サポートセンター『よりそい』（中標津町東 19 北 9）では、根室振興局の委託により中標津町、別海町、標津町、羅臼町にお住まいの方の「日常生活、就労、悩み事などの困りごと」に関する相談を受け、一緒に考え、解決へサポートする相談支援事業を平成 26 年度より実施しているとの説明を受けました。

4. 介護保険事業について（通所介護予防事業）

令和 3 年度からの新規事業として、介護予防、認知症予防事業の案が示されました。

事業内容

- 社協スタッフによる介護予防・認知症予防事業を実施。軽運動、脳トレ、オンラインゲーム、レクリエーション、喫茶、温泉、健康・介護相談、スマホ教室、栄養教室等）
- デイサービスルームを 3 ブロックに分けそれぞれ異なるプログラムを実施。
- 参加者は、自分の好みや体調にあわせプログラム内の活動メニューを選択。

- 参加者、サポーターに対するポイント付与制度の実施。
- 対象者は単位老人クラブ、高齢者サロンの参加者、町内 65 歳以上の方（自由参加）、サポーター参加は年齢制限なし、子供連れの主婦層または子供。
- 送迎支援は各団体が参加者を集約し、自力移動ができない方を社協車両で行う。

将来像

いつまでも元気な高齢者づくり（通所事業）
高齢者の町内会加入増（地域支援事業）
高齢者の移動手段（拠点送迎事業）

5. 社会福祉協議会との懇談会について

令和3年1月12日、総合福祉センターにおいて社会福祉協議会事務局との懇談会を行い、コロナ禍の影響による寄付金（香典返し）の減少や、会員数の減少（企業会員0）による会費の減少など財務状況の説明を受けました。

また、委員からは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活費を必要とする世帯への貸付である生活福祉資金（緊急小口資金）の申請状況などを質問しました。本町においても経済的な影響を受け切実な状況におかれている方がいることを改めて認識しました。その後、サロンや温泉施設などを視察させていただき利用方法などの説明を受けました。



6. 古紙・リサイクル事業について

日本製紙が釧路から撤退することにより、当町にも影響があるのではないかと委員の発言から担当課に説明を求めました。

古新聞の受け入れ先についての調整が必要となる可能性はあるものの、当町における「ごみ減量リサイクル事業報償金」の単価への影響は無いとのことでしたが、当町としての対応策の必要性を指摘しました。

7. 合葬墓の整備について

第6期総合発展計画において懸案となっていました合葬墓候補地2か所の現地視察調査と意見交換を行いました。

近年は新規墓所区画許可より墓所区画の返還（墓じまい）が上回っていることから、行政側も合葬墓の必要性は認めるものの、財源確保が困難な状況から



先送りになっていました。

しかし、町民の皆様の要望に応えるため、宗教にとらわれない公営合葬墓の早急な整備が必要と考え、当委員会としては、中標津墓地に合葬墓を建設するよう要請していくこととしました。

8. 新型コロナワクチン接種について

令和3年5月24日より65歳以上の方へのワクチン接種が開始されました。

当初は予約するためのコールセンターへの電話が殺到し、一部町民から「なかなかつながらない。」などの声を受けました。予約の円滑な推進の意見として、委員からWeb予約の案内についてQRコードの活用を促し、部局で早速対応いただきました。

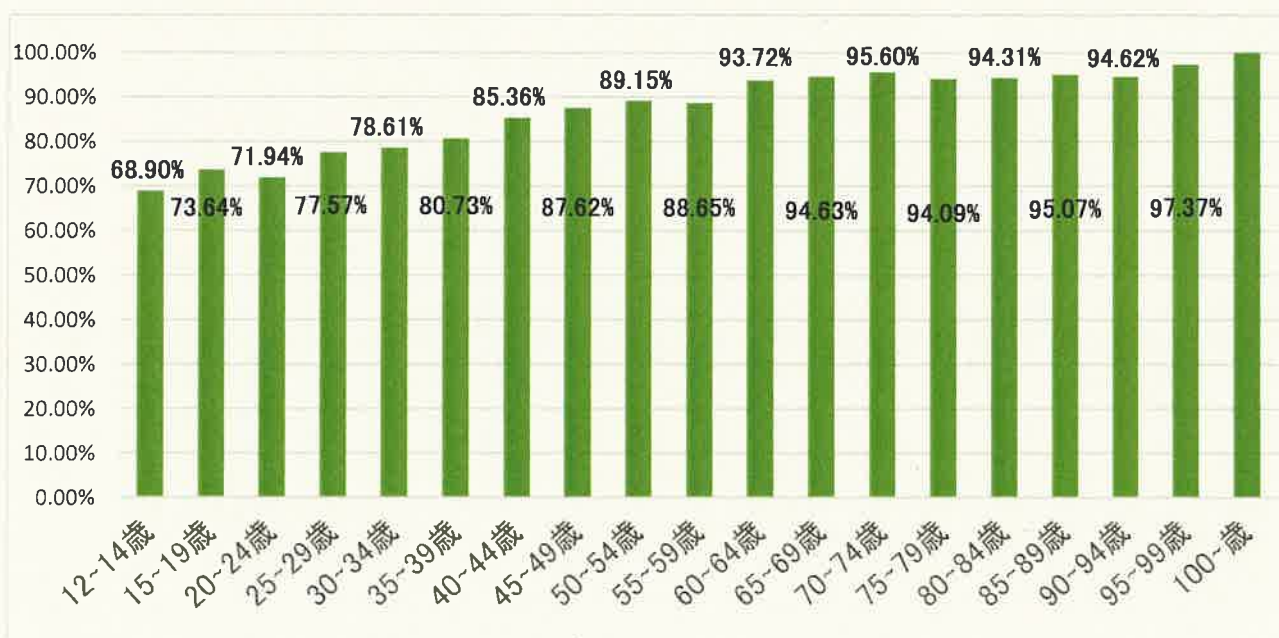


また、優先接種（エッセンシャルワーカー）の定義も全体的に不明瞭であったことから、委員会で具体的な職種の説明を求め、住民生活に影響が直結する職種の方へ早急な対応を求めました。

最終的には、町民皆様のワクチン接種への理解が順調に進み、ワクチン接種がスムーズに進みました。要因としては、2会場で医師3人体制を確保できたことをはじめとして、医療従事者皆様のご尽力、また、行政や病院の積極的な情報発信が考えられます。

7月31日時点で接種対象人口の68.2%が1回目接種を完了し、9月定例会町長行政報告では88%の接種率の報告がありました。中標津町のワクチン接種は他の市町村よりも格段に早く町民の皆様より大変好評を得ました。町長をはじめ、町民生活部、町立病院のスタッフの皆様の努力に大感謝です。

中標津町の新型コロナワクチン接種状況（令和3年9月17日現在2回目）



町立中標津病院

9. 管理運営について

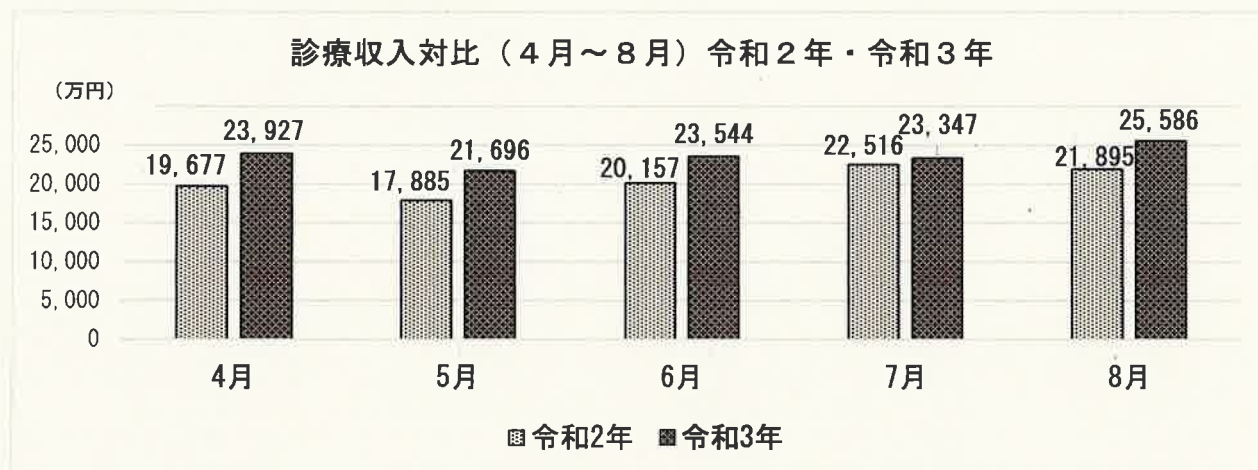
令和2年度の患者数は、コロナ禍により外来患者で減少が見られたものの、入院患者は平成25年以降最多となる3万3,927人で、診療収入は令和元年度を上回る26億8,890万円との報告を受けました。

令和3年についてはコロナ禍の影響で診療科目によって、一部外来患者の制限はあるものの、入院患者の増加により前年の実績を上回っており、経営改革の成果が表れています。

(※下記グラフ参照)

新型コロナウイルスへの対応については、専用病床を積極的に増床し、現在では16床の病床を確保しています。管内の感染状況が悪化した5月以降、羅臼、標津、別海のコロナ患者を受け入れ、地域の中核病院としての役割を果たしてきました。また、国の補助金を活用し医療施設整備を充実させるとともに経営改革を進め、今後も町民の信頼を得ながら確かな医療の提供に努めていきます。

※【診療収入】(入院・外来合計)



10. 経営改革プロジェクトチーム活動報告会について

6月28日に開催された報告会には議会から議長・副議長・厚生常任委員長が出席し、昨年6月に発足した経営改革プロジェクトチームの一年間の活動を5つのワーキンググループから報告がありました。

委員会ではこの報告会の概要を当日の会議資料を基に説明を受けました。コロナ禍で外部医療福祉機関等との協議が思うように実施できない中でしたが、積極的な活動報告がされました。

経営改善は未だ道半ばですが、昨年9月の病棟再編以来、1億2,000万円を超える収支改善、一時借入金の減少など、病院経営に明るい兆しが見えてきました。

建設水道部

1. 除雪事業について

除雪の実施について積雪が10 cm以上を目安として気象状況や交通状況を勘案して実施されます。

除雪体制は専用トラック、除雪ドーザ、グレーダーのほか貸与車両 16 台、委託車両 78 台 総台数 94 台で道路延長 550.5 km、総路線数 626 路線の除雪を行っています。

また、車両等が更新され除雪体制が強化されました。



2. 東中団地新築工事完成の視察について

工期は令和2年6月8日から12月18日で、木造平屋建の2棟が完成し、部屋の内装や設備等現地視察しました。中標津産カラマツ材を構造材として2棟合算で70.8%使用しています。

3. 大規模盛土造成地変動予測調査について

国は地震による災害の未然防止、軽減を目的に「宅地耐震化推進事業」を創設しました。これを受けて、令和2年3月に谷埋めが10箇所・傾斜地盛土が1箇所の調査結果をマップにして公表しています。

なお、令和4年まで地盤調査や安定計算の調査を実施していきます。

4. 上下水道事業について

簡易水道事業及び下水道事業において国からの通知を受け、令和5年度までに公営企業会計へ移行します。経営・資産状況を「見える化」し、一層の経営基盤の強化とマネジメントの向上を図ることができます。

5. 建設工事の発注・進捗状況について

令和3年9月30日現在の発注状況は、令和2年度(継続費分)発注済12件(100%)約3億9百万円であり、令和3年度の発注状況は、149件約23億1千万円、このうち発注済は140件(94%)約2億1千万円となっています。

6. 森林公園キャンプ場について質問し、回答がありました。

- ①テントサイトでの火気使用については、
足つきコンロの使用を現状認めており、
利用者に看板などで分かりやすく掲示し
て対応します。
 - ②車の乗り入れについては、公園内で遊ぶ
子どもたちの安全性の確保と道路の整備
などから禁止しています。
 - ③ペット同伴については、キャンプ場内は
基本的に禁止しています。今後ニーズ調査
を行いペット同伴など検討します。
 - ④Wi-Fi 環境の整備については、長期利用者増加につなげるよう検討していきます。管
理側の対応について町と指定管理者で利用方法等を協議し、利用者に混乱が生じない
ように対応していくとの回答がありました。
- また、道立ゆめの森公園と一体的に利活用を考えて、ほかのキャンプ場と差別化でき
ないかなどの検討もしていきます。



経済部

7. エゾシカ対策について

令和2年度エゾシカ有害駆除実績(5月から10月)905頭で食肉用に8頭、ペットフード
用866頭活用されました。令和3年度エゾシカ有害駆除について、当初の予定800頭をこ
える1,000頭の駆除をした経緯について説明を受けました。

今後は猟友会と週1回は確認し合い、再発防止に努めるとのことです。

8. 観光振興について

令和2年度観光入込客数は20万5,500人(前年度比32.0%減)、日帰客数は16万9,900
人(前年度比32.8%減)、宿泊客数は3万5,600人(前年度比27.8%減)との報告を受けまし
た。上期においては、全国に緊急事態宣言が発令されたことや感染拡大に伴うイベントの
中止などで大幅に減少となり、下期においては「なかしべつ冬まつり」は中止になりました
が、「GOTOキャンペーン」や「どうみん割」等の効果により、前年度を上回る月もあ
り、全体としては前年度の7割程度の入込客数となりました。

また、FDA(フジドリームエアラインズ社)チャーター便は、新型コロナウイルスの影響
により令和2年度については中止となりました。

令和3年4月29日に開陽台オープン記念イベントが開催され、なかしべつ観光協会が開

陽台バーガーの販売、なかしべつ牛乳の無料配布や催し物など状況報告を受けました。

9. 岩谷学園の視察と今後について

令和3年4月、開校される岩谷学園ひがし北海道日本語学校の改修された20人程度が勉強できる3つの教室等を視察しました。

今年度の入学予定者6名(ウズベキスタン1名、スリランカ2名、バングラデシュ3名)は、新型コロナウイルスの影響により未だに入国できない状況です。現在、リモート学習で対応しています。

なお、来年度の入学手続きが本年秋より開始するとの報告を受けました。

また、(仮称)岩谷学園ひがし北海道IT専門学校開設計画については、「農業ITコース」と「商業観光ITコース」(各コース60名2年制)を検討しており、令和6年4月開設を目指していると報告を受けました。場所は町有地(東7条南9丁目～東9条南10丁目)を想定しており、利用方法・面積について、今後計画の中で検討していくよう提案しました。

10. ふん尿処理システムの視察について

「星空の黒牛」を生産する標茶町の農業生産法人(株)エフシーエスにて、ふん尿を5時間で発酵乾燥させる処理システムを視察しました。真空タンク内で加熱乾燥、微生物の力で発酵させ、処理後は臭いもないさらさらした土状になり、牛の寝床となる敷料として使えるほか、肥料としても活用でき、悪臭もなく環境に優しいとの説明を受けました。

11. 外国人地域おこし協力隊採用状況について

ベトナム出身のレティルエンさんは横浜にある岩谷学園の保育専門学校を卒業後、令和3年5月に着任しました。

留学生に対する相談対応および支援、多文化共生社会の実現に向けた事業等の業務を行う予定です。勤務場所は、役場経済部経済振興課地域振興係に配置されています。

12. ララファーム・TMRセンター開陽DAIの現地視察について

ララファームは、中標津町農協などが出資し、基幹産業の推進のために生乳生産量の増加や肉牛事業の増強、雇用促進、農業研修などの事業を実施している法人で、その事業所の中の一つである酪農センターを訪問しました。

酪農センターでは、成牛448頭を飼育し、生産乳量は年間4千500トンとなっており、施設内の育成舎や搾乳ロボット、分娩房などを視察しました。先進技術の導入による施設整備、生乳や飼料の輸送、センター内の雇用



体制など、様々な経済的波及効果を生んでいます。

TMRセンター開陽DAIでは、牛の給食センターとして1千113haの土地で牧草やとうもろこしなどを作付けし飼料を生産している施設で、良質飼料の給与による牛群成績の向上や、ほ場管理の一元化による草地の有効利用などを行い、農家の労働内容の改善、施設・機械の有効利用など、農業技術水準の向上を図っています。

13. 臭気対策について

実績のある2つの資材の説明を受けました。1つは、牛のエサに混ぜて食べさせる資材で、牛に食べさせることで健康維持効果、整腸作用によるふん尿の臭い抑制効果があり、中標津農協は20戸、計根別農協は5戸の使用実績があります。

2つ目は、「鉄触媒」方式を使った資材で、スラリーを無臭の液肥に変えて、畑に散布することで牧草の増収や品質アップに効果があり、町内で3戸の使用実績があります。

より利用農家を増やすため、サポート体制を検討するよう提案しました。

14. 報告などの対応について

当委員会開催時に担当部署より随時、必要な報告を受けています。

作況状況やコロナ禍におけるお祭りなどの中止、延期など各種イベントの対応報告、中標津空港の定期便とFDAの臨時便の報告などを受け、協議をしています。

これまでの経過（平成28年）

平成24年8月町議会議員改選後、松村康弘議員を委員長とする議会改革特別委員会を設置し、平成28年3月17日に議長である萬和男議長に以下の8項目について検討結果の報告を行いました。

1	議員定数	5	議会のICT化
2	政務活動費	6	議会モニター制の導入
3	会派制の導入	7	常任委員会の活性化
4	通年議会・通年会期制	8	議員報酬

1の「議員定数」はアンケートの結果、回答者の6割が現状の定員18名を支持する結果となりました。5の「議会のICT化」は議会のホームページに定例議会の一般質問等を早期に情報提供するため、音声認識翻訳機の早期導入が必要との結論に達しました。（現在導入済み）

6の「議会モニター制の導入」については令和元年4月23日に第1回議会モニター会議が開催され、本年度は新たなメンバーで活動を行っております。

その後（令和元年）

令和元年12月定例会において、江口智子議員を委員長とする議会改革特別委員会が設置されました。

平成28年度の報告から3年が経過し、議会のICT化など急速なデジタル社会に対応すべく新たな議会改革について、前回の8項目の検証を中心に議論し令和2年6月12日、後藤一男議長に検討結果の報告を行いました。

特に「議員定数」については、令和2年2月下旬までの集中的な審議を経て「削減すべき」意見が多い結果となりましたが、同年8月の町議会議員選挙までの期間が短すぎることから、改選後に他の項目も含め再度委員会を設置し審議を継続する方針としました。

現在（令和3年）

令和2年8月の町議会議員選挙後、9月定例会において新たなメンバーによる現在の議会改革特別委員会が設置されました。

令和2年に議会改革特別委員会報告の審議継続を受けて、後藤議長から次の5項目につ

いて調査・審議の要請があり、現在審議を続けております。

1	議会や委員会の機能が損なわれない形の定数削減
2	議員の活躍を担保できる報酬
3	議論が伯仲する委員会を形成するための常任委員会数と委員定数
4	通年議会は議会活性化に繋がるか
5	自治基本条例の議会条項についての検証と議会基本条例制定の検討

1の「議員定数」については、3の「委員会構成」と密接な関係がありますが、前回と同様に定数削減の方向で審議が進められております。

2の「議員報酬」については中標津町と同規模の自治体議会報酬を参考に調査まで行いましたが、具体的な金額の議論には至っておりません。

4の「通年議会」の検討は近隣自治体議会の状況を視察し意見交換を行う事としましたが、コロナ禍の影響で継続審議としました。

5の「自治基本条例」の議会関連条項については、今年3月23日に町民で組織する自治推進会議と議会改革特別委員会が合同で懇談を行い意見交換しましたが「議会基本条例」に対する必要性や緊急性の議論には至りませんでした。

また、8月25日に議員全員参加で地方議会総合研究所主催のオンラインセミナーを受講しており、特に「議会改革」と「通年議会」について集中的に講義を受けましたので、全議員が共通の認識で議会改革に取り組めるものと期待しております。



今後の進め方

以上、特別委員会で審議中の案件で詳細は記載できませんが、今後12月定例会において中間報告として「議員定数」「委員会数」「委員会定数」について基本方針を示せると思います。

議会改革は条例改正を伴い、更に町執行部側が現在検討中である「中標津町機構改革」に大きく影響を受けます。

中標津町の行政改革と足並みを揃えて町民にわかりやすく、議会事務局と共に情報提供に努めてまいりますので、特段の御理解をお願いいたします。

現議会の改革状況

令和2年6月の前期議会改革特別委員会の検討結果報告により、改選後速やかな実施が求められた「議会のICT化」については、以下のとおり改革が進められています。

ホームページでの情報共有

紙媒体の「議会だより」では紙面に限りがあり、これまでどおり一般質問などの概要を掲載することには変わりありませんが、令和2年9月からはホームページにおいて、一般質問及び答弁・意見書・行政報告・教育行政報告の全文を掲載し、併せて「議会だより」各ページにQRコードを掲載しています。

オクレンジャー（アプリ）の活用

議員の委員会等招集については、従来ハガキによって行われていましたが、経費節減や利便性も含め「SNSを利用する議員について開始する」とされていた結果報告を踏まえ、令和2年8月に「オクレンジャー」というアプリのデモ活用を開始しました。

実際の活用を想定しながら検証し、同年9月から全議員を対象に本格運用を開始し、現在は各委員会の招集をはじめ、様々な連絡報告で「オクレンジャー」を活用しています。

さらに、現状の委員会を活性化させるため、議会運営委員会の開催要旨や3常任委員会の資料共有などを行ない、今後も活用の幅を広げていきます。

議会の概要

(令和3年4月1日現在)

1. 議員

(1) 議員数

条例定数 18人 (平成17年3月制定)

現員数 18人

(※17.3.17 条例定数24名から18名に改正)

(2) 任期

令和2年9月3日から令和6年9月2日

(3) 所属党派別議員数

区分	無所属	立憲民主党	公明党	合計
男	11	1		12
女	4		2	6

(4) 年齢別議員数

区分	25～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	合計	平均 年齢	最年長	最年少
男		1			5	5	1	12	63	80	33
女		1	1	1	3			6			

(5) 在職年数別議員数

区分	4年未満	4年以上 8年未満	8年以上 12年未満	12年以上 16年未満	16年以上
男	2	4		1	5
女	4	1		1	

2. 議 会 活 動

(1) 本会議開催状況（令和2年）

会 議 名	会 期	会議日数	一般質問	
3月定例会	3月 2日～ 3月12日 11日間	3日	5人	5件
6月定例会	6月 8日～ 6月12日 5日間	2日	6人	6件
9月定例会	9月29日～10月 6日 8日間	3日	8人	11件
12月定例会	12月14日～12月18日 5日間	2日	5人	6件
定例会計	29日間	10日	24人	28件
第1回臨時会	4月23日 1日間	1日		
第2回臨時会	5月25日 1日間	1日		
第3回臨時会	7月20日 1日間	1日		
第4回臨時会	9月 3日 1日間	1日	初 議 会	
第5回臨時会	11月24日 1日間	1日		
臨時会計	5日間	5日		
本会議計	34日間	15日	23人	25件

(2) 委員会等開催状況（令和2年）

委 員 会 名	委員数	開催日数
総務文教常任委員会	6名	16日
厚生常任委員会	6名	15日
産業建設常任委員会	6名	17日
議会運営委員会	7名	13日
議会広報特別委員会	5名	14日
（仮称）第7期中標津町総合計画等特別委員会	7名	4日
議会改革特別委員会	7名	10日
全員協議会	全議員	7日
予算審査特別委員会	全議員	3日
決算審査特別委員会	7名	5日
合 計		95日

(2)会議開催日数・付議事件等(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別				提出者・議決結果別				請 願		一 般 質 問	
提 出 者 ・ 種 類 別											

令和2年9月から令和3年9月までの一般質問に関する分析集計表

№1

質 問 標 題	答 弁 者			答 弁 の 分 類				
	町長	教育長	代監他	実行する	実行に向け 研究する	可能性を 検討する	折をみて 検討する	実行しない
令和2年9月								
1 コロナ禍における避難所運営について	○			○				
2 当町における行政のデジタル化について	○				○			
3 公職選挙法の改正と条例制定について	○			○				
4 入湯税の今後の使われ方について	○				○			
5 (1) 新型コロナウイルス感染症差別防止対策について	○			○				
(2) 組織機構の見直しについて	○				○			
6 (1) 戦略的な情報発信、こまやかなメッセージ発信について	○				○			
(2) 釧路空港におけるピーチアビエーション対応について	○							○
(3) 中標津町通所介護予防事業の変更について	○				○			
7 ウイルス対策時の災害について	○					○		
8 町民が健康運動を継続・定着させるための施策について	○					○		
令和2年12月								
1 日本製紙釧路工場撤退の影響について	○			○				
2 自治基本条例の強化について	○				○			
3 町有財産の有効活用について	○				○			
4 私道の舗装について	○							○
5 (1) 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ同時流行について	○					○		
(2) 交通弱者の生活支援について	○					○		
令和3年3月								
1 成年後見制度の利用と促進に関する法律と中核機関について	○			○				
2 エゾシカ対策について	○			○				
3 被災者支援システムの導入について	○					○		
4 (1) 町内会活動の活性化について	○			○				
(2) 子どもたちの安全教育について		○		○				
5 日本遺産「鮭の聖地」の物語への再加入について	○						○	
6 (1) まちづくりを考える町民懇談会における、道の駅開設にかかる町側の回答について	○							○
(2) 太陽光発電施設と景観条例の運用について	○			○				
(3) SDGs実現に向けた町の取り組みについて	○					○		
7 ANAグループの出向社員の受入について	○			○				
8 (1) 不妊治療費助成事業に係る中標津町単独助成事業について	○							○
(2) 人口減少における定住に向けた取組について	○					○		
令和3年6月								
1 地域間交流促進事業について	○			○				
2 NIE(教育に新聞を)運動について		○						○
3 インターネット環境にない町民への情報伝達について	○				○			
4 (1) 道東自動車道の開通予定と「知床」ナンバー7町の広域連携について	○			○				
(2) 地域高規格道路釧路中標津道路の整備促進と今後の整備計画について	○				○			
5 北方4島クルーズと観光広域連合の結成について	○				○			
6 ふるさと納税返礼品および事業者の拡充について	○				○			

令和2年9月から令和3年9月までの一般質問に関する分析集計表

№2

質 問 標 題	答 弁 者			答 弁 の 分 類				
	町長	教育長	代監他	実行する	実行に向け 研究する	可能性を 検討する	折をみて 検討する	実行しない
令和3年9月								
1 白樺並木の今後について	○			○				
2 (1) ドローン時代の「空のまちづくり」について	○						○	
(2) 熊の出没の対応について	○				○			
3 形骸化する町民への意見聴取について	○				○			
4 北根室ランチウェイ(通称KIRAWAY)の復活について	○					○		
5 長期化するコロナ禍での事業者支援について	○			○				
6 介護者がコロナ感染した場合の介護認定者の受け入れ先について	○				○			
7 障がい児者が生涯スポーツを継続することについて	○				○			
合 計 (44件/5定例会)	42	2	0	14	15	8	2	5

中標津町議会議員委員会等所属一覧表

議員任期：令和2年9月3日～令和6年9月2日

委員任期：令和2年9月3日～令和4年9月2日

(令和3年10月1日現在)

議長：後藤 一 男				副議長：鈴木 克 弘			
総務文教常任委員会		厚生常任委員会		産業建設常任委員会		議会運営委員会	
委員長	佐野 弥奈美	委員長	高橋 善 貞	委員長	千葉 清 正	委員長	江口 智 子
副委員長	吉田 貫 一	副委員長	松村 康 弘	副委員長	熊倉 重 樹	副委員長	佐藤 武 志
委 員	平山 光 生	委 員	安藤 美 佳	委 員	佐久間 心み子	委 員	高橋 善 貞
委 員	阿部 隆 弘	委 員	山口 雄 彦	委 員	松野 美哉子	委 員	千葉 清 正
委 員	佐藤 武 志	委 員	江口 智 子	委 員	宗形 一 輝	委 員	佐野 弥奈美
(議長)	(後藤 一 男)	委 員	黒川 静 夫	委 員	鈴木 克 弘	委 員	鈴木 克 弘
						(議長)	(後藤 一 男)
						副議長&3常任正&議長推選2	
議会広報特別委員会		議会改革特別委員会 【令和2年10月6日設置】					
委員長	宗形 一 輝	委員長	江口 智 子				
副委員長	阿部 隆 弘	副委員長	松村 康 弘				
委 員	山口 雄 彦	委 員	平山 光 生				
委 員	佐久間 心み子	委 員	宗形 一 輝				
委 員	鈴木 克 弘	委 員	高橋 善 貞				
		委 員	佐野 弥奈美				
		委 員	鈴木 克 弘				
副議長&三常任委各1&議長推選1							
根室北部衛生組合 議会議員		根室北部消防事務組合 議会議員		中標津町外2町葬斎組合 議会議員		根室北部廃棄物処理広域連合 議会議員	
江口 智 子(監査)		佐野 弥奈美		宗形 一 輝		高橋 善 貞	
黒川 静 夫		吉田 貫 一		佐藤 武 志		松村 康 弘	
鈴木 克 弘		鈴木 克 弘		鈴木 克 弘		鈴木 克 弘	
後藤 一 男		後藤 一 男		後藤 一 男		後藤 一 男	
議長 佐藤 晶／組合長 金澤 瑛		議長 田中孝幸／組合長 西村 稔		議長 後藤一男／組合長 西村 稔		議長 西原 浩／組合長 曾根興三	
正副議長&厚生委員2		正副議長&総務文教正副委員長		正副議長&総務文教委員1 &産業建設委員1		正副議長&厚生正副委員長	
中標津町監査委員		中標津地域森林・林業・ 林産業活性化議員連盟		議 員 会			
吉田 貫 一		会 長	熊倉 重 樹	会 長	吉田 貫 一		
		副 会 長	千葉 清 正	副 会 長	松村 康 弘		
		事務局長	高橋 善 貞	幹 事	平山 光 生		
		幹 事	佐久間 心み子	幹 事	安藤 美 佳		
		幹 事	松野 美哉子	幹 事	阿部 隆 弘		
		監 事	佐藤 武 志	監 事	山口 雄 彦		